

## 平成 30 年度事業計画

### 1. 実施事業（定款の第 4 条第 1 項 1, 3 号業務）

#### (1) 霊長類関係の研究者及び技術者を対象にした研究助成事業

1) 予防衛生に関する研究者及び技術者の育成を目的として、国内の霊長類関係の研究者及び技術者を対象に研究助成（表彰）を行う。

実績	(27 年度)	(28 年度)	(29 年度)
研究者	なし	なし	なし
技術者	なし	1 名	なし

#### 2) 外部研究者との共同研究の実施（継続事業）

既設設備を用いた ABSL3 システムにおける「陽圧防御衣」着用時における研究作業性の評価を目的として実施する。（実務者の陽圧防御衣着用時での生理的状況の精査も含む。）

#### (2) 技術者の育成及び知識の普及

予防衛生を中心とする公衆衛生の向上と科学技術の発展に寄与することを目的として、次の事業を行う。

##### 1) サル取り扱い技術講習会

- i. 対象者 霊長類関係の初級・中級技術者
- ii. 開催時期 平成 30 年 6 月、8 月、10 月、平成 31 年 2 月（4 回/年）
- iii. 目的 モデルザル「リアル 1 号」を使用した実験手技の講習
- iv. 開催場所 予防衛生協会本部事務所（つくば市）

##### 2) 予防衛生協会セミナー

- i. 対象者 霊長類関係研究機関の管理者及び技術者

- ii. 開催時期 平成 30 年 11 月 (1 日)
- iii. 目的 予防衛生協会の派遣出張業務内容を紹介しながら広報する
- iv. 開催場所 つくばイノベーションプラザ (つくば市)
- vi. 成果目標 外部派遣出張支援顧客を 2 社 (機関) 開拓

2. その他事業 (定款の第 4 条第 1 項 2, 4 号業務)

(1) 繁殖育成等委託事業 (国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所からの委託事業)

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 (以下、「基盤研」と記載する) の委託業務のうち医科学研究用霊長類繁殖育成等 (第 1・2・7 棟) 委託業務について平成 28 年度から 3 年間の契約を獲得したので平成 30 年度は 3 年目の事業を行う。

(2) 研究支援等事業

基盤研霊長類医科学研究センターで研究を行う基盤研研究者への研究支援業務が一般競争入札単価契約となり 4 年目を迎える。平成 30 年度入札が 3 月に行われ落札者が決定するので当協会も入札に参加し業務を実施する予定。

同センター内の共同利用施設 (医科学実験施設及び感染症実験施設) を利用する外部研究者とは任意契約のため、より多くの研究者と契約を結び飼育管理や研究材料採取、手術処置、検査等の業務にあたる。なお、共同利用施設を利用する外部研究者の研究課題は、基盤研が公募し共同利用施設運営委員会等により審査のうえ 5 月に決定される。

検疫については、霊長類医科学研究センター共同利用施設で研究を行う研究者からの依頼により同施設への導入検疫を実施する。

	(28 年度実績)	(29 年度実績)	(30 年度見込)
検疫頭	14 頭	20 頭	16 頭

(3) 国立感染症研究所村山庁舎等における霊長類飼育管理業務等

国立感染症研究所村山庁舎及びハンセン病研究センターにおける実験用霊長類や

小動物の飼育管理業務等についても、平成 30 年度入札が 3 月に行われるので当協会も入札に参加し落札したなら業務を実施する予定。

(4) 滋賀医科大学における労働者派遣業務

同大学が 3 月に予定の実験用霊長類を使用した獣医学的管理・研究支援等の労働者派遣業務一般競争入札に参加し落札したなら業務を実施する予定。

(5) 国立精神・神経医療研究センター実験用霊長類飼育管理業務

同センターが実施する一般競争入札に参加し実験用霊長類の飼育管理委託業務は平成 28 年度から 3 年間の契約を獲得しており平成 30 年度は 3 年目の事業を行う。

(6) 民間企業において行われる動物実験の研究支援業務（派遣）

平成 29 年度半ばから依頼を受けて、製薬会社の動物実験施設で行う実験に職員を派遣し研究支援業務を行う。

(7) 検査事業

医科学研究等に使用する実験用サル類等及びヒトの安全を確保するために、前年度に引き続いて次の通り実施する。

検査については、国内外のサル飼育施設から依頼を受けたサル由来材料等についてウイルス抗体検査や細菌検査等を実施する。

	28 年度実績	(29 年度見込)	(30 年度見込)
検査件数	16,515 件	16,000 件	16,000 件

(7) 大学や研究機関等への出張研究支援

要請に応じて当協会の技術者を派遣して研究支援（健康診断）、研修等を実施する。また実験動物技術者認定試験等にも協力する。

28 年度実績	(29 年度見込み)	(30 年度見込)
産総研 2 回	産総研 1 回	産総研 1 回

筑波大学1回

筑波大学1回

筑波大学1回

製薬会社1回

製薬会社1回

(8) 研究支援技術開発等

研究支援技術の開発等を行うとともに、必要に応じて霊長類医学研究に対応した研究器材の整備を行う。

(9) 医学研究用霊長類からの基盤研究資料の構築等

霊長類医学研究センターに協力シカニクイザル繁殖コロニーに係る構成、供給モニタリングデータのデータベース化を行う。

(10) 予防衛生協会講習会

i. 対象者 実験動物関係の施設管理者及び技術者

ii. 日程 平成30年6月22日(金) 平成31年2月

iii. テーマ 「動物実験におけるバイオセーフティ」 「未定」

iv. 目的 実験動物関連のバイオセーフティ・バイオセキュリティ情報提供

v. 場所 つくばイノベーションプラザ(つくば市)

(11) 研究成果の発表

医学研究用霊長類に係る研究を積極的にすすめ、その成果を日本実験動物学会、日本バイオセーフティ学会、獣医学会、日本実験動物環境研究会等で発表する。

(12) ホームページの運営

- 1) 当協会の組織及び業務の紹介
- 2) 生命科学の雑記帳などプライメートフォーラムを運営し情報を発信する
- 3) その他の関連情報を提供